

様式14-1※ 介護老人保健施設など、『(介護予防)通所介護、診療所以外の(介護予防)通所リハビリテーション』以外の場合

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表

事業所名	
サービスの種類	
当該事業所における常勤の従業者が1週当たりに勤務すべき時間数	時間
サービス提供時間帯(診療所である(介護予防)通所リハビリテーションの場合のみ記入)	～(時間)

(年 月分) (单位目)

注1: 「勤務形態」欄は、常勤・専従の場合は「A」、常勤・兼務の場合は「B」、非常勤・専従の場合は「C」、非常勤・兼務の場合は「D」と記入すること。

注2：4週間の勤務時間数を記入すること。公休の場合は「×」を記入すること。

注3：職種ごとに小計を付けて分けること。また、ユニット型サービスの介護職員については、ユニットごとに記載すること。

注4：通所リハビリテーションの場合は、実施単位ごとに作成すること。

注5：職員が職種・サービス種類を兼務する場合は、それぞれに勤務時間を割り振ること。

注6: 夜勤体制を記載する場合は、夜勤を網掛けする等わかるよう記載し、余白にその旨を記載してください。

注7: 備考欄には、兼務する職種、資格などを記載し、ユニット型サービスの場合は、ユニットリーダーについても記載してください。

注8：必要に応じ適宜行を追加してください。

様式14-2 ※(介護予防)通所介護、診療所以外の(介護予防)通所リハビリテーションの場合

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表

事業所名																																		
サービスの種類																																		
利用定員	人																																	
サービス提供時間帯	～	(時間)	※利用者を施設に迎えてから送り出すまでの時間(送迎時間を除く。)																															
(年月分)			(単位目)																															
職種	勤務形態	氏名 曜日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	備考
合計																																		

注1: 「勤務形態」欄は、常勤・専従の場合は「A」、常勤・兼務の場合は「B」、非常勤・専従の場合は「C」、非常勤・兼務の場合は「D」と記入すること。

注2: 1月間の勤務時間数を記入すること。公休の場合は「×」を記入すること。

注3: 職種ごとに分けて記載すること。

注4: 実施単位ごとに作成すること。

注5: 職員が職種・サービス種類を兼務する場合は、それぞれに勤務時間を割り振ること。

注6: 備考欄には、兼務する職種、資格などを記載すること。

注7: 必要に応じ適宜行を追加してください。